

西国巡礼慈悲の道

西国第十四番 長等山

園城寺(三井寺)

慈悲

山主 福家英明

伝教大師最澄様の有名な
お言葉に「忘己利他^{もうこりた}」とい
うのがございます。仏教と
いえば普通まずお悟りを求
めるものということでは
知

う痛ましい事件が日常茶飯
事である昨今、このお話が
必ずしも通用しないのでは
と悲しく思います。

れている訳ですが、最澄様
はまずその前に「己を忘れ
て他を利する」すなわち慈
悲ということを言われてお
ります。お説教の席などで、
わたくし無き仏様の慈悲の
御心は父母の愛情とお話し
てまいりましたが、親が子
を、子が親を殺傷するとい

三井寺には「訶梨帝母」
という護法神がお祀りされ
ています。訶梨帝母は所謂
鬼子母神でして、自分の子
を養うために人の子を餌食
にするという恐ろしい鬼女
でしたが、お釈迦様に非を
論されて護法神になった方
です。訶梨帝母は我が子を
思う情が深いがために人の

子を餌食にするという非道
を行ったのですが、昨今の
事件は、身は人でありなが
ら、そこには浅はかな自分
の都合や損得しかなく、鬼
女ほどの情もないかと言わ
ざるを得ません。

慈悲は慈しみと悲しみで
ありますが、この悲しみは
仏教で言う「同悲」という
もので、悲しみを同じくす
るということです。まさに

「忘己利他」のお言葉どお
り他人の悲しみ、苦しみを
救うという心持ちになれば
先の悲惨な事件などは起こ
らないと思います。

三井寺の宗智証大師円
珍様は、「濟世利人」とい
うお言葉を残されておりま
す。その心はまさに「忘己
利他」と同じであります。

また円珍様は「誰か此の界
を離れて更に仏土を求めん
や」つまり、その心により
この世を素晴らしい仏国土
にしていく事、それが仏教
の目的であり、使命である
と示されています。円珍様
も最澄様の「忘己利他」の
精神をしっかりと受け継がれ
ておられます。



西国第十四番

長等山

園城寺(二井寺)

天台寺門宗総本山

おんじょうじ

御本尊／如意輪観世音菩薩 開基／大友与多王

いでいるや

波間の月を 三井寺の

鐘のひびきに あくる湖

観音風光

毎年五月十六日より十八日まで、子どもの守り神「鬼子母神」を祀る護法善神堂において祭礼が行われます。このお祭は「千団子祭」と呼ばれ、串にさした千団子が供えられ、子どもの無事成長、安産を祈る人々で賑います。堂前の池に子どもの名前を書いた亀を流し、子どもの成長を祈る放生会が行われ、境内には植木市がならびます。

主な年中行事

四月一日～十七日 夜桜ライトアップ

(午後六時三十分～九時三十分。境内の約二千本の桜に照明をあて幻想的な夜桜を満喫できます。期間中は夜間無料)

五月十六日～十八日 千団子祭

(護法善神堂。十六日午前十時、ご本尊重文鬼子母善神像(開帳法要)

十月二十九日 宗祖智証大師御正忌法要

(午前十時、唐院。この日のみ秘佛国宝智証大師像御開帳)

十二月三十一日 除夜の鐘

(午後十二時、参拝者に三井の晩鐘を撞いていただきます。要申込)

〒520-0036 滋賀県大津市園城寺町246
TEL 077-522-2238(代表)・524-2416(観音堂)
http://www.shiga-miidera.or.jp
納経時間 午前8時～午後5時

仏教用語一口解説

方便とは

「うそも方便」という諺があります。本来、うそは悪いことではあるが、物事をうまく運ぶためには必要な場合もある、という意味です。方便とは、仏や菩薩が困れる衆生に対して行う、悟りに近づけさせる為の方法のこと。ですからこの諺は、どうしても救いたいとの仏さまの心から出た手だてを指しているのです。自分の悪い行いを正当化する為に使うのではなく、本来は決して悪い意味で使ってはいけない言葉なのです。

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。